)内に当てはまる数字を入れて下さい。

家族を誘い、子供2人と松戸から てきそうです。はな子さん長い間来ました。はな子さん、長い間あ りがとうございました。 亡くなった週の日曜日 5/29 関 朝 (36歳・松戸市)

イラスト作品のモティーフにした 初めて会ったのは幼稚園の時。優 出もあったり、はな子さんは日常なりました。息子と上野動物園に に溶け込んだ存在でした。まだ実通った時期も、一人でここに来ま

6月10日 花束を供えに来られていた人 鈴木智子(63歳・世田谷区)

~ん」という声をかける光景は、 ぬぐいは、井の頭といえばはな子 私が子供だった頃も、孫世代の さんと思って作りました。亡くなる 今も同じでした。「はな子さん、今」「週間前に最後に会えてよかった。

イラストレーター

小坂タイチ(38歳・三鷹市)

頃は故郷の大地でゆっくり歩いてはな子さんありがとう。 手染め手ぬぐい屋ともぞう本舗

ぞうのはな子さんは、5月26日(木)に69歳

て以来(②)年もの長い間、来園者みん

なに愛され、多くの方々を励まし和ませてくれ

ました。長い間本当にありがとう。お疲れ様

の生涯を閉じました。昭和(

でした。

感がありません(涙)。はな子さん した。今日は駅から涙が止まりま

いますか?」

ありがとう。

| 楽園はよみがえるか|

カイツブリは、得意の 潜水で小魚やエビを捕ま える、小さな水鳥です。 池や川にカップルで縄張 りを作って暮らし、子育 てをします。

空中でピタリと止まり、長い口吻をがく筒に差し込んで蜜を吸 うのを見ることができます。雄花のほうが雌花より豪華で数も 多いのは、スズメガを先に雄花に誘い、花粉を口吻に付けてか

はな子にひとこと

ら雌花に行ってもらうための工夫のひとつなのでしょう。 花は夜明け前に閉じます。一夜の役割を終えた雄花は折れて 落ちますが、受粉できた雌花は子房が膨らんで小さな瓜にな

> ありがとう。 友野智子(56歳・武蔵野市)

り、晩秋には朱色に色づいて枯れたツルにぶら下がります。そ れを食べるヒヨドリなどに種子の散布を託すのです。株は地中 低木が枝と葉を展開し終わる初夏、イモの栄養を使って一気に ツルを伸ばして這い上がり、葉を広げます。カラスウリとして は低木を頼っているわけですが、覆いつくされて日光を遮られ るほうは迷惑なだけで、得るものがありません。当然、公園の

管理者はツツジなどを覆っているカラスウリを除草します。

自然の一面でしかないことに

気づくのです。

魅力的な「雑草」

井の頭かんさつ会 田中 利秋 井の頭かんさつ会代表。毎月自然観察会を開催。 (たなかとしあき) 池の外来魚問題にも取り組む。

を持つスズメガに特化した結果なのです。花のところで待っ ていると、運が良ければ、スズメガが音もなく飛んできて、

井の頭かんさつ会 田中 利秋 http://homepage2.nifty.com/tnt-lab

設置したり調査したり 「かいぼり隊」。

▼「フローター」 に乗ってワナを

はな子

株式会社文伸/ぶんしん出版 開園100周年まで

016年 7・8月号

いのきちさん編集委員会

東京都三鷹市上連雀1-12-17

メール inokichi@bun-shin.co.ip 東京都西部公園緑地事務所 東京都井の頭自然文化園

井の頭原賜公園100年実行委員会 NPO法人みたか都市観光協会

一般社団法人武蔵野市観光機構

編集長 川井信良

株式会社文伸 気付 話 0422-60-2211 AX 0422-60-2200

せのうさちこ 1975年 盛岡市で生まれる。小6で三鷹へ転校。 アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住。



1983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトグラファー。

『す。名称は**井の頭公園の 「いの**」、隣接する**吉祥寺の 「きち**」、井の頭 池が市内となる**三鷹市の三 「さん**」 を並べたものです。













NFOR MATION 2016年7~8月

■ 夏の怪談スタンプラリー

「動物園怪談画劇~井之頭百物語・四~」

井の頭自然文化園にまつわる、様々な創作怪談を 読みながら園内を回ることで、動物や施設の特徴を知ることができます。 普段と違った動物園を感じてみませんか?

参加費: 無料日時: 7月23日(土)~9月4日(日)各日9時30分~

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html

- どんぐり広場 (三角広場)

- ツリーマジック (第二公園)

- 8月28日(日)、9月11日(日)、9月25日(日)
- 7月9日(土)、8月6日(土)、8月7日(日) 8月20日(土)、9月22日(木・祝)

詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.i-np.jp/index.html に載せます。

野外劇フェスタ 劇団どくんご「愛より遠く」(西園文化交流広場) 9月1日(木)~11日(日)4日、9日は休演

井の頭かんさつ会

第135回「井の頭池」

7月24日(日) 10:00~12:00

8月13日(土) 18:30~20:30(予定)

事前申し込みが必要です。詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます。



Q1. ① 29 ② 62

園長さんと飼育員さんにお話を伺いました。 埋め尽くす花束と8000通の手紙

はな子のいなくなったゾウ舎は、とても静か でした。グラウンドを埋め尽くす花束や高く積 まれた8000通もの手紙に、「はな子がこれだけ 愛されていたことに驚いています。自分の子ど もや家族のように思っている方が多いのでしょ 永井清園長 うね」と永井清園長は話します。

前日は鼻で柵をつかんで体を支えていた



田口眞隆さん

飼育チーム4人のうち、田口眞隆さんと 浅見準一さんから、はな子の最期の様子を うかがいました。

野生のゾウはいつ襲われても逃げられる ように、立って眠ります。はな子もお尻を下 ろすことはあったものの、基本的には常に

立ったまま。体調が悪いときは、鼻で柵をつかんで体を支え ていたそうです。亡くなる前日にもその仕草が見られました。

ろうそくの火が消えるような最後

そして翌5月26日朝、定時に田口さんたちがゾウ舎に行く と、はな子は横になっていました。寝転がると、自らの重さで 内臓を圧迫してしまいます。すぐにチーム全員に知らせて集 合し、緊急時の連携を約束している上野動物園・多摩動物 公園からも応援が駆けつけました。寝返りを打たせようと努 力しましたが、はな子は午後3時過ぎに息を引き取りました。 ろうそくの火がすうっと消えるように、暴れたり苦しんだりする ことのない最期でした。

やってあげられることはできたかな

浅見さんは「去年4月に担当になってから、 はな子がいつ具合が悪くなっておかしくないと 覚悟していました。今日できることをやって、 また次の日にはな子が元気でいるなら、その

日もできることをする。そんな一年でした」。田口さんは「やっ てあげられることはできたかなと思います。100%ではないけ れど。はな子は体を触られると喜びました。熊手でこすって ほしいところをアピールしてきたり。柵越しにそんなスキン

シップをしていました」と振り返ります。 はな子を偲んで、ゾウ舎はしばらくは現状のままにする予 定だそうです。9月にはお別れ会が催されます。

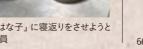


好物の果物と、運動場へ並べられた花束。 努力する職員 (関朝さん撮影)

運動場に出ようとしているが出ることは

しなかった。(鈴木啓子さん撮影)

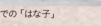






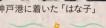


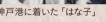




大好きなホースと

遊ぶはな子



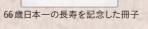


第1代のゾウ舎

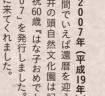


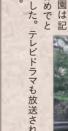




















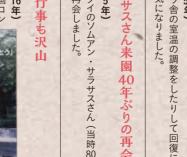


















※ この「アジアゾウの『はな子』が歩んた道」は、公益財団法人東京動物園協会井の頭自然文化園 発行の「祝60歳『はな子おめでとう』2007」、「アジアゾウのはな子66歳おめでとう」と死亡直後にゾウ舎前に置かれたパネルから引用しています。また写真もクレジットのないものは全て井の頭自然文化園提供です。